

2014.7.6

阿寒湖～足寄～中札内村

宿を8時過ぎに出て、阿寒湖へ向かう。時間が早いせいもあり、日曜日の阿寒湖は閑散としている。此処も駐車場は有料。ボッケを見に行く。湖岸沿いの遊歩道を歩く。ブクブク温泉が地面から吹き出ている。最近まで無料の露天風呂として人気があったようだが、今は禁止されてロープが張られ立ち入り禁止の掲示が幾つも出ている。

阿寒湖と雄阿寒岳



アイヌ部落通り



帰路台湾人らしき観光客にあとどのくらいボッケまで距離があるか聞かれたのでとっさに、「アバウト、スリーハンドレットメーター」とその場をしのいだら通じたようだ。時間もあるし、湖岸沿いの遊歩道を歩く。雄阿寒岳がクッキリと勇姿を見せている。アイヌコタンのような木彫りを売る店が両側に並ぶ所にたどり着いた。アイヌの生活用品を陳列した博物館のような建物もあった。

アイヌ衣裳



アイヌ生活様式の展示館



帰路も土産品店が並ぶ通りを覗きながら駐車場へ戻る。観光客の姿も多くなってきたが、かつての賑わいは無い。「駐車料金を取るツケが回ってきた」と私は勝手に解釈した。裏手のスキー場に登って阿寒湖を見下ろしてみた。結局3時間以上のユックリした観光

になった。次は雌阿寒温泉とオンネトーへ。

アイヌコタン



雌阿寒温泉は百名山挑戦の時に雌阿寒岳への登山道入り口だったので思い出がある。ガスで山頂での展望が無かったのもう一度登りたい山である。登山者等で沢山車が駐車していた。オンネトーからの雌阿寒岳と阿寒富士の眺めは最高だった。

スキー場からの阿寒湖と雄阿寒岳



右、阿寒富士 左、雌阿寒岳

あしよろ銀河ホール 21 内



今日は宿を早く出て登れば良かったと反省する。丁度両山を縦走してきた私と同年輩の方と会話をした。百名山挑戦中で雌阿寒岳が53座目と言っていた。私のナンバーを見て懐かしそうに「信州大学を出ました」と言った。足寄（あしよろ）の道の駅は前にも寄った所。建物が特徴的なので、「松山千春」のポスターや展示コーナー、記念碑等が沢山ある。彼がここの出身者との事。名誉町民なのだろう。ラワンブキの産地でもある。背丈を越す大きな落だ。15:30に今日の宿、中札内村の「カンタベリー」に到着。唐松林が多い、別荘団地風の一角だ。オーナーが庭の花々の手入れを熱心に行っている。見応えがあった。エゾリスの宿らしく、エゾリスがやって来て餌をしきりに食べている。愛嬌があるいろんなしぐさを拝見できた。

道の駅、あしよろ銀河ホール 21



ワランブキと松山千春



北海道の一般的な風情、ジャガイモ畑と牧場



とほの宿、カンタベリー



綺麗な花々



珍しい花です



エゾリスがやって来ました



夕食後オーナー夫婦にベトナム旅行の話聞いた。このご夫婦は旅行されていると、宿のHPに掲載されていたのが、この宿に泊まった理由の一つだった。私達夫婦も来年5月頃行くので、情報が欲しかった。